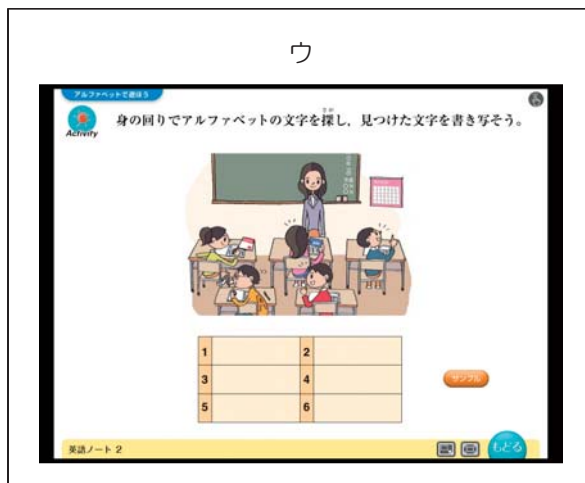


## 5 文字の取扱い

小学校外国語活動における文字の取扱いは、次のように考えましょう。

- ① アルファベットの活字体の大文字・小文字に触れる段階にとどめる。
- ② 発音と綴りとの関係（語句の読み方）については、基本的に中学校段階で扱う。
- ③ 「聞く」、「話す」活動が中心、単語や文を「書く」、「読む」活動は避ける。
- ④ 文字指導は、外国語の音声に慣れ親しませてから導入する。



『英語ノート』では、文字をどう扱っているでしょう。

上の図アは、アルファベットの断片を合わせて文字を完成させる活動、図イは、先生が発音するアルファベットの文字を選んで並べる活動、図ウは、身の周りのアルファベットの文字を探し、見つけた文字を書き写す（書く）活動です。このように、『英語ノート』には、アルファベットの音や形に慣れたり、手本を見ながら文字を書き写す活動があります。ここでいう「書く」活動というのは、アルファベットに興味を持ったり、認識したりすることが目的であり、正しい筆順で文字を書くことや単語や表現を繰り返し書いて、それらのつづりを正確に覚えることではありません。